

(株) レンテック 御中

バイオ製剤「スラッジアウト」の  
魚類による急性毒性試験

結 果 報 告 書

平成29年6月

株式会社 ENJEC

## バイオ製剤「スラッジアウト」の魚類による急性毒性実験

### 1. 実施場所

(株) ENJEC 4階恒温実験室

### 2. 実施期間

平成29年6月19日～6月23日

### 3. 委託者

(株) レンテック

### 4. 受託者

(株) ENJEC (エンジェック)

### 5. 実験の目的

水環境の底質改善に用いられる紅色硫黄細菌を含むバイオ製剤「スラッジアウト」の魚類による急性毒性を試験する。

### 6. 実験方法

ガラス製の2リットルビーカーに曝気して脱塩素した水道水2リットルを入れ、バイオ製剤「スラッジアウト原液」を実際に使用する濃度(0.6L/50m<sup>2</sup>、深さ1m)の10倍の濃度になるように0.24mL添加した。これにヒメダカ(平均乾燥体重:0.0242g)10尾を入れ、一定時間毎に生息数を観察した。実験は25℃の恒温室で実施した。

### 7. 結果と考察

実験結果を表1に示す。96時間の観測の結果でもヒメダカは1尾もへい死しなかった。バイオ製剤「スラッジアウト原液」は実際に使用する濃度の10倍でもへい死魚は0%であり、魚類に対する急性毒性は認められなかった。

表1 実験結果

経過時間 (Hr)	生息数/供試数	
	「スラッジアウト原液」 0.12(mL/L)	ブランク試験
24	10/10	10/10
48	10/10	10/10
72	10/10	10/10
96	10/10	10/10

# バイオ製剤「スラッジアウト」の魚類による急性毒性試験

## 実験写真

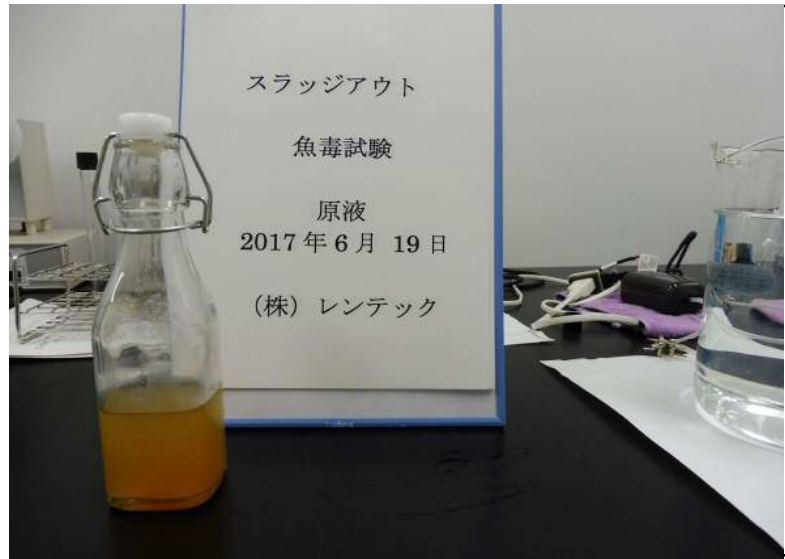
平成29年6月19日 ～ 6月23日

No. 1

スラッジアウト魚毒試験

原液

平成29年9月19日



No. 2

スラッジアウト魚毒試験

0時間

平成29年9月19日

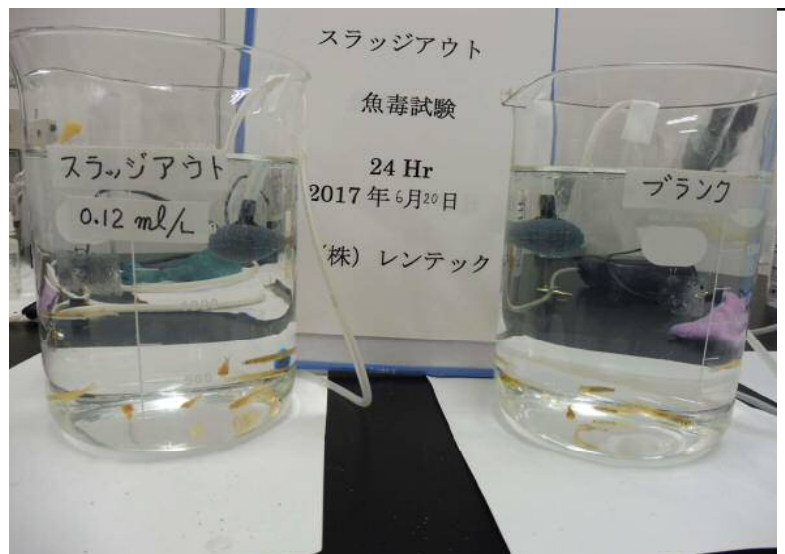


No. 3

スラッジアウト魚毒試験

24時間

平成29年9月20日

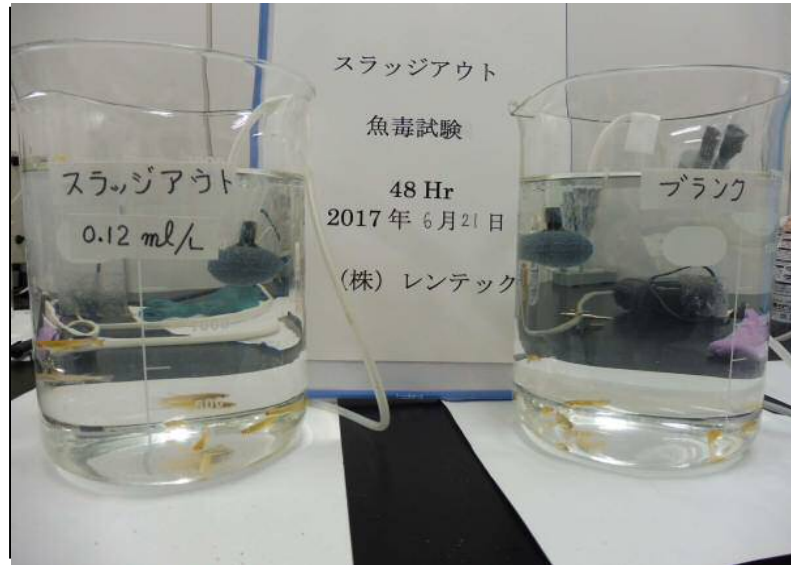


No. 4

スラッジアウト魚毒試験

48時間

平成29年6月21日

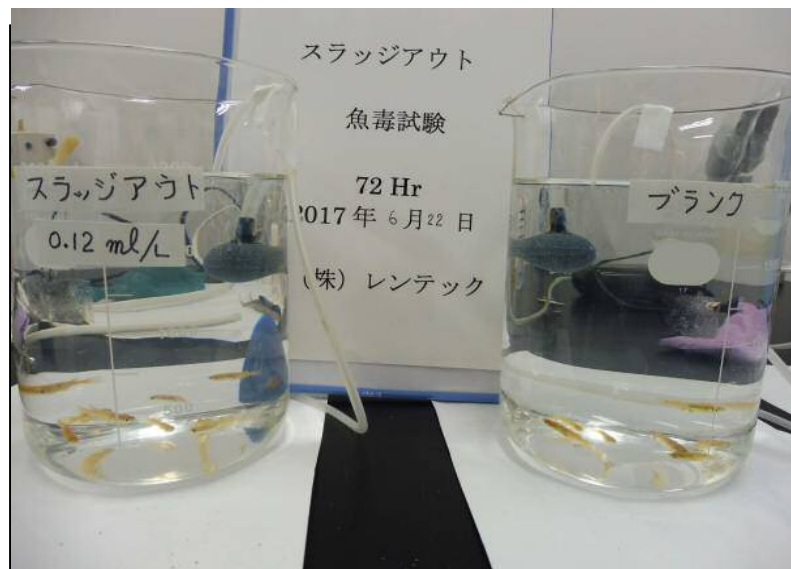


No. 5

スラッジアウト魚毒試験

72時間

平成29年6月22日



No. 6

スラッジアウト魚毒試験

96時間

平成29年6月23日

